

【請願の審査】

請願第18号 多摩区宿河原・堰地域にバス路線の新設を求める請願

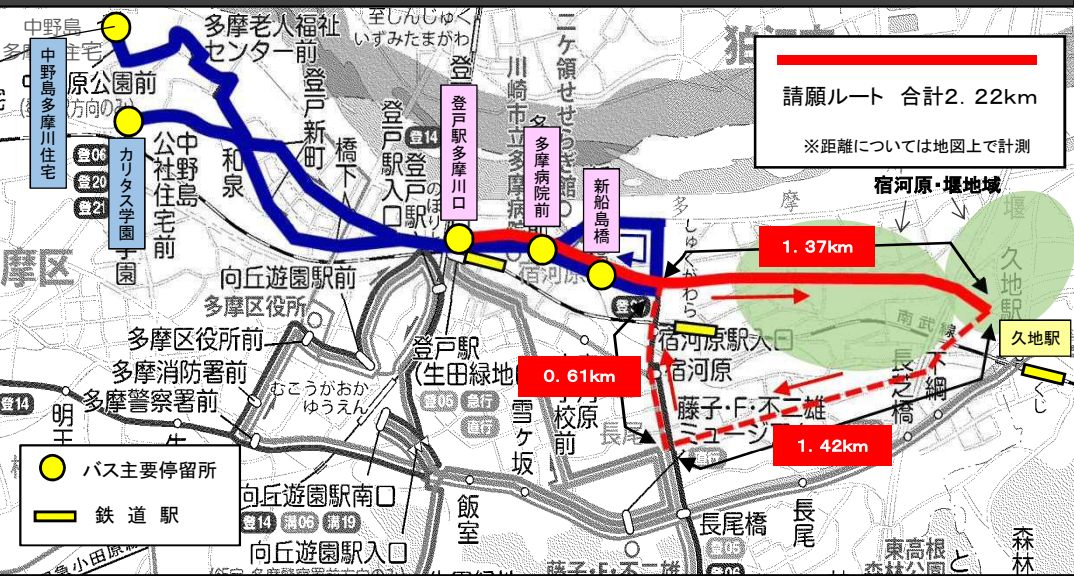
交 通 局

請願第18号
 多摩区宿河原・堰地域にバス路線の新設を求める請願

【請願の要旨】

多摩区宿河原・堰地域から、登戸駅や市立多摩病院への市バス路線新設

請願ルートと既存路線図



既存路線の現状

系統	運行経路	平日 運行回数
登21	新船島橋→登戸駅多摩川口→カリタス学園	35
	新船島橋→登戸駅多摩川口→中野島多摩川住宅	10

令和元年度収支	営業収益(千円)	営業費用(千円)	営業損益(千円)	営業係数	乗車人員/日
カリタス線	91,757	131,779	▲40,022	143.6	1,474

1 請願要旨を踏まえたバス運行の検証

請願ルートの課題

- 宿河原・堰地域から多摩病院を経由し登戸駅へ向かう場合、登戸駅多摩川口周辺に折り返せる場所がない
- 登戸駅から請願地域へ運行する場合、久地駅周辺に折り返せる場所がない

想定される運行経路

上記2つの課題から、既存路線（登21系統）を延伸し、点線部分を大きく道路ループで戻る経路となる

【登21系統・現行距離 4.69km】

＜具体的なバス運行経路＞

カリタス学園・中野島多摩川住宅→登戸駅多摩川口→新船島橋→1.37km区間→1.42km区間→0.61km区間→新船島橋→登戸駅多摩川口→カリタス学園・中野島多摩川住宅

【合計 7.86km】

＜限られた運転手・バス車両での対応＞

延伸区間：1時間当たり1本、既存区間：1時間当たり2～3本→1～2本

2 請願に対する考え方

上記の検証により

1. 既存路線(登21系統)の
利便性が低下

- 1便当たりの運行距離と運行時間が約1.6倍に増加するため、既存路線の運行回数の減が必要となり、利便性が低下
- 運行回数の減により、利用者が減少し、収支状況のさらなる悪化が想定

2. 延伸区間の採算性が懸念

- 試算したところ、延伸される新たな運行区間だけでも1日当たり延べ約200人、1ヵ月当たり延べ約6,000人の利用が必要となり、採算性が懸念

当該地区における市バスの運行は、利便性・採算性の両面から
対応が困難

※ 市バスにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響による事業環境の変化に対応するため、利用動向に合わせたダイヤ改正を行うなど、引き続き経営改善に取り組んでいく